

人気ゲームとのコラボレーションで 甲州手彫印章を発信

山梨県印章店協同組合

玩具や模型の大手メーカー(株)バンダイと山梨県印章店協同組合(望月一宏理事長 組合員 21 社)が共同で山梨県の伝統工芸品「甲州手彫印章」を活用した商品開発を行った。

バンダイでは、人気ゲーム「刀剣乱舞 ONLINE」と「伝統工芸」を掛け合わせた商品を多数展開している。中央会に対して山梨県の地域ブランドの照会があり、担当指導員が山梨県印章店協同組合を紹介したのが、今回の商品化につながった。

今回、組合と開発した商品は、PC ブラウザ・スマホアプリゲーム「刀剣乱舞 ONLINE」に登場する歴史に名だたる刀剣の擬人化された刀剣男士をイメージした手彫り印章で、燭台切光忠、へし切長谷部、三日月宗近、加州清光の日本刀4振り^{しよくだいきりみつただ}をラインナップ。価格は各 34,020 円(送料、手数料別)で、バンダイの公式ショッピングサイト「プレミアムバンダイ」で昨年の 12 月中旬から予約・販売を行っており、これま

で 300 本を上回る注文が入っている。注文すると名彫り前の印材と「お仕立て券」が届き、券に彫りたい名前と字体を指定して印材と共に同封の封筒に入れて郵送する

と、認定された伝統工芸士が伝統的な道具で字入れや字直し等すべての工程を手作業で一本一本彫り上げた世界に二つとない黒水牛の甲州手彫印章が2カ月程度で届く。

望月理事長は、「バンダイとのコラボレーションを通じて甲州手彫印章の技術と品質が全国的に知られるようになり大きな成果が得られた。また日本独自の氏名認証の方法である印章の伝統の技を若い世代に広める良い機会になった。」と述べていた。



「刀剣男士」の紋入りデザインを施した印鑑